**レッスンPYR 75**

**テーマ：現在のパーソナリティー**

**PYR 75/08 No.3 07/11**

**私の姉妹・兄弟たち、**

**スピリット、光そして火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性の中に抱かれています。**

**レッスンのなかで、実存の諸世界におけるLifeの現れは現在のパーソナリティーを活性化する、と述べました。最初に、サイコノエティカルな諸世界においてアダムとイブとしての現れがあり、それを私たちはman personality　と言いました。**

**その現れがLifeのスパークによって活性化されたものか、またはそれはLifeのスパークなのか、それについてはあなた方が見いだしてください。しかし、今の所、皆さんはそれがLifeのスパークなのか、またはそれはLifeのスパークによって活性化された現れなのか、を知っているとみなして、先に進んでいきます。アダムとイブとしてのこの現れは二元性の能力があり、Lifeの本質を完全に現しています。**

**勿論、この段階でディバインの黙想の仕事が達成されることはできません。なぜなら、男性のパーソナリティーとしてのこの現れは現在のパーソナリティーとしてみなされていないからです。仕事が達成されるためには、この現れはマインドの低次の波動を帯びなければならず、マインドの低次の波動とは、それがそれ自体を現す特定の惑星のそれです。私たちの惑星に関しては、これらマインドの低次の波動とはこの地球上にある4つのエレメントです。この現れがマインドの特定の波動を身につけるや否や、Lifeの本質を完全には現していない現在のパーソナリティーがそこにあります。**

**私たちはレッスンから、今や現在のパーソナリティーであるこのパーソナリティーはLifeのスパークによって活性化されて、そして勿論Lifeの本質を完全には現していません、それはつまりそのサイコノエティカル体は元型としての人間のイデアフォームの形をしていない、ということです。その理由は、このサイコノエティカル体を保持している骨組みが完全には活性化されておらず、サイコノエティカル体がハートのセンターに根ざしています。そして同時に肉体の健康を意味するもう一つの体のもそこに根ざしています。**

**3つの球体がハートのセンターに根ざしており、これらの球体が肉体における現在のパーソナリティーを意味しています。ですから、この現在のパーソナリティーは頭のセンターで考えるのではなく感情、気持のセンターで考えるのです。**

**なぜ球体なのか？なぜなら現在のパーソナリティーは惑星上で、つまり私たちの場合には地球でそれ自身をあらわしているからです。徐々に現在のパーソナリティーを意味するそれらの諸体は形を取り、それらのセンターはハートからそれぞれ移動します。ハートに残るセンターはサイキカル体で、ノエティカル体は頭に、そしてもう一つ肉体の健康に関するセンターは太陽神経叢に移動します。実際、これは魂のセルフエピグノシスがそれ自身の微細なスパークを実存の諸世界に放って以来のプロセスであり、それはディバインの仕事がそのコースを進んでいって望む結果を達成するためです。**

**さて、皆さんは知識として与えられてきたものを熟考して深く考えてください…人間としての現れはLifeのスパークなのか、つまりアダムとイブはLifeのスパークなのかどうか、あるいはそれはLifeのスパークによって活性化された現れであるが、Lifeの本質を完全に現しているのかどうか、またその現れは高次ノエティカル体を使用しているのかどうか、あるいは完全に再形成されたサイコノエティカル体を使用しているのかどうか。このことについて考え、自分自身で結論を出すように努めてください。**

**Page2**

**そして今や、肉体の中にいる現在のパーソナリティーがいます。まずそのパーソナリティーはいわゆる本能意識的意識のセルフエピグノシスを現しています；それは動物界にいる現れとあまり変わりません。勿論、多くの違いはありますが、行為行動、現れなどは最初の頃はあまり変わりません。なぜなら、そのパーソナリティーにとって考えの動きはあまりにも緩慢で、自分自身が存在することを認識することも不可能です。そして徐々にゆっくりと、レッスンで述べたように転生を通じてそのパーソナリティーは考え、思考を現し始めるのです。**

**初めは多くの転生において本能的意識のセルフエピグノシスを現し、その後に次のサイクルではそのパーソナリティーは自分が地のエレメントの中にいるのを見いだすようになります。その理由についてはレッスンで何回も述べました。**

**地のエレメントについては、部屋がありますが実際には墓です；墓という理由はそこには現れの制限があるからです。しかし同時に、現在のパーソナリティーのこの墓または部屋は制限を与えるだけでなく、その現在のパーソナリティーを守ることもしていると述べました。なぜなら、現在のパーソナリティーはLifeの本質から多くを現していないので害を受けやすいからです。**

**この部屋の中にいる間、つまりこのステートにいる時、現在のパーソナリティーはこの部屋にいかなる穴、割れ目もつくらないように非常に注意すべきです。なぜなら、もし部屋の壁に穴ができたら、そのパーソナリティーは非常に低いレベルのエレメンタルからの攻撃を受けるようになるからです。その結果、その現在のパーソナリティーはアンバランスとなるからです。**

**問題は、現在のパーソナリティーがどのようにして壁に穴をつくるのか？ということです。**

**１つは、現在のパーソナリティーがテクニカルな手段を行うということです。その結果、現在のパーソナリティーがアンバランスとなります。ですから、部屋のなかで守られている時でも、現在のパーソナリティーは壁に穴をつくり、非常に低次のエレメンタルがそのパーソナリティーに影響を与えるのです。**

**壁に穴をあけてしまう別の原因もあるでしょうか？あります、現在のパーソナリティーが過去生から原因を持ってくることです。しばらくの間は、その現在のパーソナリティーがおそらく10才、15才または20才頃になるまではそのアンバランスの症状が現れないかもしれません。そのような場合、前世からのアンバランスが表面に浮上してくるのですが、その理由は今生でそれを体験するためです。**

**その転生した現在のパーソナリティーは誕生した瞬間に部屋に入るのですが、その部屋はそのパーソナリティーが転生から原因を持ち越して来なければ、初めは穴はなかったのです。そのような場合には、部屋に穴やひび割れがなくてもアンバランスな症状が出てきます。**

**Q：はい、しかしそのような人々はこの世界に戻って来る前にサイコノエティカル体にいる間に癒されるべきではないのですか？**

**K：ノー、何であれ生きている間に身につけた傾向を失うことはありません；次の転生にそれを持ち越して来るのです。**

**Q：はい、しかしそれは獲得したものというよりむしろ支払うべきものです。体験するために現世に持ってくるのですか？**

**K：はい、なぜなら私たちはバランスの世界に生きているからです。そして法則は最終的にはバランスをもたらすことでしょう。ですから、私たちは自分が実践することに対して注意するべきです。なぜならアンバランスを生み出すのは簡単だからです。しかし、再びその現在のパーソナリティーに調和をもたらすのは非常に難しいからです。非常に多くの努力が必要で、それは何回の転生に渡って続くこともあります。**

**アンバランスはまたドラッグやアルコールによっても生じます。そしてそのようにして生じたアンバランスもまた何回かの転生に渡って続くこともあります。ですから私たちは非常に注意する必要があり、この知識を他の人々に与えるべきです、特に若者たちが安易にドラッグに手を出さないように。**

**さて、現在のパーソナリティーは最初のサイクルに、そして2番目のサイクルにはどのくらい留まる必要があるのでしょうか？レッスンで述べましたが、1番目と2番目のサイクルでは多くの転生が行われ、多くと言う場合それは5回でも10回でも100回でもなく、それよりずっと多くの回数の転生があります。例えば、この地球上の人間で、2番目のサイクルの半ばぐらいにいる人で一般的レベルの気づきの状態にある人の場合、その人は（＊全ての転生を足すと）百万歳どころではなくおそらく何十億歳にもなっていることでしょう。**

**Page3**

**私たちの地球について言えば、人間のイデアを通じてディバインの仕事が達成されるために地球が物質化され、何であれディバインの黙想の仕事が達成されることでしょう。ですから、この地球の上と中でLifeを受け入れる準備ができると、人間がこの地上に現されたのです。そして全てがこの地球上に築かれ、築かれたと言う時、それは動物界、植物界その他を意味します。それは人類に体験を与えるためです。**

**大きなトカゲや恐竜が地球上にいたときには人間は存在していなかったなどと言う、何であれ考古学者や歴史学者が信じていることなど忘れなさい。人類に体験を与えるためでなければ、それらの生き物が存在していた理由はありません。**

**さて、現在のパーソナリティーとしてのその現れがLifeの本質を現さないということ、それはどのようにしてそうなったのでしょうか？それはディバインの法則によるものです。創造界における最大の法則は創造の元型であり、創造の元型はいわゆる生命の木で、生命の木は同時に元型としての人間のイデアフォームを提供する骨組みでもあります。この骨組みは創造界における最大の法則であり、この法則の中に他のより小さな諸法則があります。**

**何らかの法則が働くことによって、現在のパーソナリティーとしての現れがLifeの本質を完全に現すことができなくなっていて、同時にその法則が現在のパーソナリティーを活性化した所に再び帰還する（つまりLifeのスパークの中に入ることによってLifeの本質を完全に現わす）ように助ける、と考えることは論理的です。**

**また現在のパーソナリティーはLifeの影であると述べました。そして現在のパーソナリティーはLifeそれ自体をより多く現すように進んで行き、影はどんどん小さくなっていきます。つまり、影を創造しているところに次第に近づいていくということです。**

**人間としてのパーソナリティーがマインドの一番低い波動の中に閉じ込められるように助け、同時にその現在のパーソナリティーが自己実現するのを助けるそれらの同じ法則は何処に見いだすことができるのでしょうか？それらの法則は私たちの内側に、私たちの内側にあるLifeのスパークのなかにある、と述べました。全ての法則は私たちの内側にあります。なぜならLifeは私たちの内側にあるからであり、Lifeのなかには全てがあります。しかし、私たちは自ら進んでそれらの法則にアプローチしていく必要があり、そしてそれらにアプローチするのは様々なシンボルを通じてなのです。**

**私たちの最大の法則は創造の元型のシンボルのある法則であり、私たちは3次元にいる現在のパーソナリティーを助ける各法則のシンボルを創る必要があります。 そしてそれらはピラミッドのフォームの中にあります。**

**4つのエレメントを意味する四面ピラミッドがあり、また三面ピラミッドがあります。三面ピラミッドは特定の潜在的可能性のサイクルがLifeからどれだけ多くを、その特定のサイクルをマスターするステートに達する現在のパーソナリティーに提供するかを意味します。そしてまた五面ピラミッドがあり、それは真の五感または影の五感を意味します。影としてのものはピラミッドの底面に見いだされ、底面から頂点へと向い、頂点は5つの真の五感を意味します。**

**そしてまた一面ピラミッドもあり、それは円錐形で、そのピラミッドはその特定のサイクルをマスターした現在のパーソナリティーが何であれ達成するものを意味し、そのパーソナリティーが意識的意識のセルフエピグノシスからどれだけ多くを現しているか、つまりそのパーソナリティーが自分の意識をどれほど広げることができるかを意味します。**

**ですから、私たちにはこれらの法則があり、探究者としての皆さんは特定のサイクルをマスターするためにそれらの法則を使う必要があります。最初のサイクルにおいてはそれが起きるための何の努力もありません。つまりLifeそれ自体からより多くを現す何の努力もなく、意識的努力というものがありません。しかし、2番目のサイクルでは、現在のパーソナリティーは非常の多くの転生の後に、Lifeそれ自体からより多くを現し始めますが、しかし初めはその努力はエゴイズムによって動機づけられます。**

**そして最終的に現在のパーソナリティーが2番目のサイクルをマスターすると、何であれ地のエレメントの中にあるものと向き合うことができるようになり、部屋を後にして地のエレメントの上にある四面ピラミッドの中に入ります。そして意識的意識のセルフエピグノシスを現し始めます。**

**Page4**

**勿論、探究者が何であれ法則が提供しているものを利用できるようになるためには、多くの実践、多くのエクササイズ、そして最も重要な努力とは何であれ知識として与えられたものを毎日の生活において実践することです…特に他の同胞の人間達に対して。つまり、毎日の生活において他の人々に対する態度、行動です。そしてこれはまた主、神に対するもっとも重要な祈りとなります。祈りとは単なる言葉ではありません。重要なのは、日常生活において他の人々に対してあなたがどのように機能し行動するかということです。**

**Q：現在のパーソナリティーの極端に落ち込んだ体験は、部屋の壁に穴、割れ目を生じさせますか？**

**K：もちろんであり、それが問題の原因となり得ます；また月を訪れた宇宙飛行士が後になってアンバランスになりました。そうです、勿論そのような出来事はアンバランスを引き起こす可能性があります。しかし、人々がそのような状況に置かれるということは偶然ではなく、何であれそれらの原因の背後には原因結果の法則があるのです。**

**Q：この世界で日常生活において普通に生活できない老齢者が回りの状況を意識せず、あたかも睡眠中のように話し、しかし実際には寝ているのではなく、自分の知っている人と会話をする人がいます。このような事例は統合失調症というよりも、あたかもサイコノエティカル体にいるかのようですが、しかしあたかも夢の中で話すかのように声を出してしゃべっています。そのようなパーソナリティーもやはりアンバランスなのでしょうか？**

**K：勿論、それは（＊精神的な）アンバランスです、アルツハイマーや躁病と同じように。**

**Q：私が最近病院で見たのですが、その人は眠っているのですが、大きな声でしゃべっています。その人が知っている人々と会話をしているのです。私は感じたのですが、たぶんそれは人が死んでサイコノエティカル界に移行したのと似たような状況ではないかと。そこには違いがありますか？**

**K：はい、しかしそれはサイコノエティカル界ではノーマルであっても、この世界ではそれはアンバランスです。**

**Q：それでは、もしこの世で知っている人々を（＊向こうの世界に）連れて行く場合、何であれ自分が創造した世界で存在するわけですね。**

**K：この世界にまだいるのにそのような体験をするのは、その人がアンバランスだからです。もしそれが成長の結果でなければ。**

**Q：それでは、そのような場合どのような違いがあるのですか？もしそのパーソナリティーが自分の周囲の状況を意識していなければ、それはその人がサイコノエティカル界にいる可能性もあるのですか？**

**K：もしそのパーソナリティーがこの世での自分の存在を意識していないのなら、それはそのパーソナリティーが二元性を現していないということになります。実際、そこでは思考というものは創造されません、思考の動きというものはありません。ですから、そのような場合、夢を見ているのか、どういう状態なのかをどうして説明できるでしょうか？例え、もしそのパーソナリティーがこの世界の波動の中ではなく、別の世界、サイコノエティカル界に入っているとしても、誰もそれを知ることはできません。医者であれ、医療機器を使用してもそれについて知る事はできません。思考形態もなく、思考の動きもない場合。そのような場合、オシロスコープを使用しても、結果はフラット（＊生理的活動停止状態）となるでしょう。しかし身体はまだ生きているのですが、何の表情もなく、その様な場合にはその人は植物人間だとみなされます。**

**そのようなステートでは、身体は完全に生きていて、医学的には死んでいません。もしその目的がそのような体験を与えることであるなら、その人のサイコノエティカル的成長のレベルに関係なく、誰にでもそれが起こりえる可能性があります。その場合、その人が非常に高いレベルに成長している人なら、その人はその別の世界においても意識的に生きることでしょう。そして肉体はそのパーソナリティーによって活性化され、他の人々に体験を与えるためにそのようなステートに留まるでしょう。しかし、その人はその特定の身体に閉じ込められることはないでしょう。**

**Q：しばしば引退した人々は次のようなステートに入ります…自分の人生はある意味で終わったと感じ、そのために鬱状態に陥ります。それはあたかも人生はお金を稼いでいる間だけに意味があるかのように。そのような人々はそれまでの人生においてどんな体験、経験も得ることがなかった、ということを意味しますか？なぜなら、今や人生をギブアップしてしまうようなポイントに到達しているからです。**

**Page5**

**ｋ：それは個人によります、引退するまでの間に、彼等がそれまでの人生においてどれだけ多くの体験を得たかによります。そして勿論、それはそれまでの全ての前世とも関係しています。それは気づきのレベルによります。**

**Q：それでは、そのようなケースではその人の気づきが非常に制限されていたということですか？**

**K：そうです。もし彼等がこれで終わりだと考えるなら、もし人生は続いていくということを認識しないのなら。人生は年齢に関係なく興味深いものであり、“人生には終わりはなく、物質的なものを得るだけが人生ではない”というアイディアを彼等に伝えれば、そのような人にとって助けとなるでしょう。**

**Q：3つの体が再形成されたことをどのようにして知るのですか？自分の進歩成長をチェックする方法がありますか？**

**K：はい、それはそのパーソナリティーが3番目のサイクルに入ったことを示します。レッスンで述べましたが、そのパーソナリティーが自分の指をリアリティーに置き始めることです。継続的にではなくても、時々そうするようになる、ということです。**

**Q：ドラッグを使用する人は再び精神のバランスを取り戻すのに一生かかるかもしれない、と言いました。しかし、自分自身について一生懸命に努力するなら短期間にアンバランスを元に戻すことは可能ですか？**

**K：それはその人がどれほど深く中毒になっているか、そしてその人が使用したドラッグの種類にもよります。しかし、アルコールですら非常に危険になりえるのです。**

**正直に言いますが、そのような人は非常に影響を受けやすくなっており、時にはほんの僅か口に入れただけで、また口に入れなくても匂いをかいだだけで､元の中毒症状を引き起こしてしまう場合もあります。これら全てに関しては両親のみならず、学校も生徒たちにドラッグの危険性を知らせる役割があります。生まれてきた時に既に中毒になっている赤ん坊もいます。その理由は両親が中毒だったからです。**

**Q：サイコノエティカル界はより高い波動にあります、ですからこの物質界よりもよりリアルな世界なのですか？**

**K：サイコノエティカル界もまた物質界です。**

**Q：しかし、人が死んで現在のパーソナリティーとしてサイコノエティカル界に入ると、そこで完全にその人自身のイリュージョンの中に留まります。ですからどうしてそこがよりリアルだと言えるのですか？**

**K：この世界よりももっとリアリティーがあります。なぜならそれらの波動において現すことのできる能力はこの世界におけるよりもずっと大きいからです。なぜならそこではパーソナリティーは常に真の感覚を使っているからです。この世界では私たちは影の感覚を使用します。そこでは人は創造エーテルをすぐさま使い、何であれ望むものを築き、創造します…人間すらも築きます。あなたはパーソナリティー達を創造することができ、それらは実際のパーソナリティーを意味し、そのパーソナリティーであり続けます。まったく違いはありません。**

**そのパーソナリティーは生きていた時とまったく同じ家を創造し、愛していた人々も創造し、生きていた時に気に入っていたものを何でも創造します。何も失うものはありません。ですから、その人はまだこの世界にいるという印象を抱くでしょう。**

**Q：創造された人達は、彼等を創造したパーソナリティーとは独立して行動することができるのですか？**

**K：そうです、彼等はそれを創造した人が生きていた時のように行動します。**

**Q：しかしそれはそのパーソナリティーが生きていた時に人々をそのように見ていたようにでしょうか、それとも実際にそれらの人々がそこにいるからですか？**

**K：彼等は活性化されます、何であれその現れのステート、サイコノエティカルの諸世界において私たちが創造するもの、それを活性化するのは私たちではなく、私たちが創造した特定のパーソナリティーです。しかし、私たちはこの物質界を去った時のポイントから見ているのです。もし私たちがサイコノエティカル界に例えば100年滞在するなら、その間に物質界における進展、変化を私たちは知る事はできません。**

**このレッスンの初めに与えた質問について考えるようにしなさい；アダムとイブは完全に再形成されたLifeのスパークなのか、あるいは現在のパーソナリティーが自己実現の時に使用する高次ノエティカル体なのかどうかを。**

**EREVNA /PYR 75 KE08 No.3/11/07**